

# 品川支部

令和5年7月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel&Fax 3442-7075

## 7月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 四年ぶり 夏のこどもおちばがえり

七月二十七日から八月六日まで、夏のおちばが戻ってきました。三年間、規模を縮小して継続してはいましたが、やはりここ、夏のおちばは鼓笛やブラスバンドの音と子どもの楽しくよるこびあふれ、うるさいくらいの大きな声が似合います



朝のおつとめ行事

合同お供え演奏

## ☆支部行事のお知らせ

・支部例会七月二十一日(二頁参照)  
\*七月は月末の子どもおちば帰りの関係で日にちが二十一日になります

・幹事会 七月九日(六時から) 都南分教会にて

・百四十年祭におけ

東京教区「みんなでのきしん」

・大井在宅介護センターひのきしん

七月二十八日

\*尚、毎月一日の神名流しは  
今月は有りません

・教区ひのきしん

七月担当は日本橋組です

よろしくお願ひします

## ☆教務支庁からのお知らせ

・基礎講座東京会場七月は八日夕方五時開催

基礎講座の東京会場では、新たに品川支部から南泰分教会長宮坂先生、水豊田分教会長石田先生の二名の先生が講師のお役を教区長先生から指名を頂き勤められています既にどなたかをお連れになられた方も是非ご参加下さい

・青年会から

第九十七回天理教青年会総会は十一月二十五日十一時から本部にて開催されます

・学生担当委員会から

「心を操る組織から人々を守るために」というテーマで先月四日にカルト・マルチ勉強会が催されました。この時期新入学された学生をターゲットに、クラブや同好会等の勧誘に混じって、占い、韓流アイドル同好会等、軽い気持ちで参加できる内容で勧誘します。そこで友達関係を作って深入りさせていく手法で行うのですが、統一教会系だけでなく、新入生を狙った複数の団体から身を守る術を身につける事を主眼に置いて行われています。相談も出来ます。

・小鼓教室

先月は品川支部からは三名の参加でした。初心者から、名人まで手を取って教えて頂けます。今月は十三日午後七時都南分教会です

・品川支部報へ投稿お寄せください  
お近くで何か皆さんに聞いて頂いても良さそうなこと等、出来事があれば編集部までお便りを寄せて下さい掲載させて頂いた場合は粗礼させていただきます

時報手配り七月予定

\*尚、八月は例年通り  
全て直送になります

拠点教会	5日号	12日号	19日号	26日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本 荏	手配り	手配り	手配り	手配り
南 泰	手配り	手配り	手配り	手配り
三ツ木	手配り	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

# 品川支部例会

## 令和五年7月21日 (金)

### 11時開始

## 場所 南泰分教会

品川区東品川一丁目二十九の六

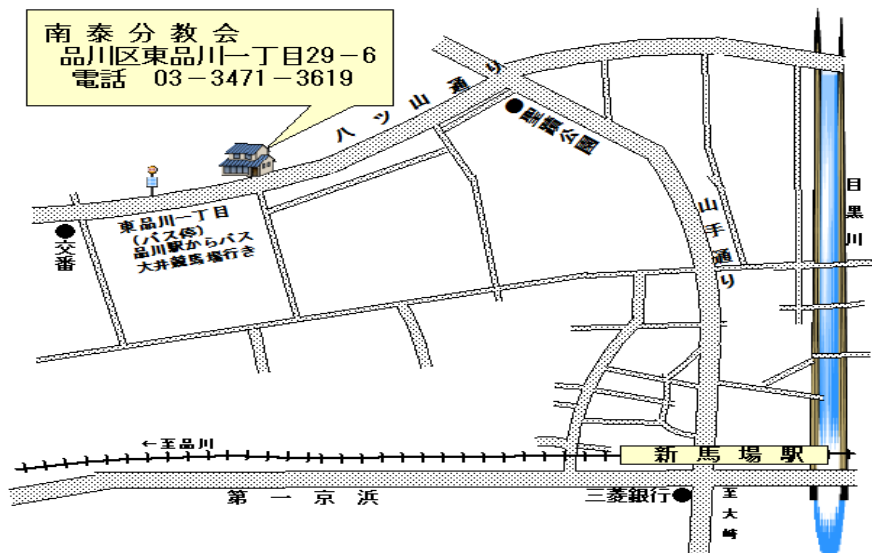
## 内容 おつとめよろづよ八首 七下り目

### 東京教区、支部連絡事項

### 当該教会長宮坂先生 挨拶

### 昼食の用意頂いてます

### \*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



#### 基礎講座講師を拜命して



十年程前のこと、初席者をお与え頂いて喜んでおちばに帰った私は、またまた会った北海道の教会の会長さんに報告したところ「初席を運んでもらうということは基礎講座は東京で聞いてもらってんだ」と言われ「いや、基礎講座は聞いてもらっていません」と答えたら「お前は基礎講座も聞かせずにいきなり初席を踏ませるのか！話がわかるわけないだろ！」と叱られました。びっくりしたことがありました。

天理教基礎講座は天理教をまったく知らない人として、おちばだけではなく、北海道、東京、福岡など地方でも開催されています。

北海道の中部にあるその会長さんの教会では、札幌の教務支庁で開催されているこの講座にお誘いするのが常であるそうです。広い北海道です。札幌まで行って九十分の講座を受講するのも一日仕事です。

遠方の先生方にとってまず地元でおちばの息を掛けて頂ける「天理教基礎講座」は、にいがけおたすけの上で重要なツールなんだと感じました。それから私も、新しく補導委託で少年を預かった時など、まず東京教務支庁でのこの講座を受講してもらおうようにしています。この講座の素晴らしさを改めて認識しました。

昨年春、教区の職制変更の際、六期十八年使って頂いた布教部事務局の御用を引かせて頂くことに致しました。

その際、入江新教区長先生より「基礎講座の講師になるように」とご指名を頂きました。

まさに青天の霹靂でしたが、私自身も思い入れのある講座ですので喜んで受けさせて頂きました。

受けたといっても、すぐに講師になれるというものではありません。

本部行事として「天理教」の看板を背負い、布教された方が苦勞してお誘いしてお連れ下さった未信者の方にお道を紹介するということ、まず九十分役です。で、まず九十分及び講座の原稿を作って本部の布教部に提出し問題点を指摘して頂いて修正し、また見て頂いてという作業をしているうちに、あつという間に一年が経ちました。九十分といってもその内40分はビデオ視聴ですからお話は約五十分なのです。原稿をつくと、この五分分がとても長いのです。

自分の身上のこと、子供の身上のこと、広島の布教時代のことなど、今まで生きてきた中でネタを捻ざらいついて原稿を作成したことは、自身の信仰を振り返る

とてもよい機会をお与え頂いたと思います。そして今年の三月二十五日、表統領先生より委嘱状を賜り、天理教基礎講座・東京会場の講師としてつとめさせて頂くことになりました。

早速四月九日に初めて講師としてつとめたのですが、九十分の講義が七十五分で終わってしまい大変あせりました。

いつもはメモ書きぐらいで原稿を持たずにお話することが多いので、原稿がきっちりあるとだいぶ勝手が違います。

慣れない中ではありませんが、この基礎講座に入り口として、おちばに、別席に、ようばくと進んで頂ける方がおられることを願って、与えられた御用をつとめていきます。

南泰分教会  
会長 宮坂義則

